

うえだ News 環境市民会議

平成 16 年 4 月 15 日
第 6 号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目 11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
seikatukankyo@city.ueda.nagano.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

第 4 回うえだ環境市民会議開催

日時 4月22日(木)午後1時30分から4時

会場 上田駅前ビル パレオ 5階会議室

講演会

演題 「温暖化防止対策としてのマイカー通勤節減運動」

講師 水上則男氏

(長野県地球温暖化防止活動推進センター事務局長)

ワーキングチームミーティング ほか

※当日は、温暖化防止活動として、公共交通機関利用や徒歩、自転車によりご来場ください。(車、自転車でお越しの際は、有料の駅前駐車場、駐輪場が利用できます。)

「環境フォーラム 2004」を開催しました

3月22日、中央公民館において、ながの環境パートナーシップ会議の清水委員長を講師にお招きし、「パートナーシップの難しさ、楽しさ」と題した講演会を開催しました。自治会関係者をはじめとする140人あまりが参加し、市民・事業者・行政との協働による環境保全活動の様子を伺いました。うえだ環境市民会議の今後の活動の参考になる内容の講演でした。講演会后、清水委員長と竹内議長をはじめ、事務局員3名により、意見交換を行いました。

自然豊かな山と川を育むまち

■ 3月25日ミーティング開催

○ 今後の活動方針について

①市の保存樹木、貴重な樹木・樹林などを調べ、現地に出向いて写真に収め、写真付きのマップを作る。②上田市の松くい虫の消毒方法について調べる。③市内の公民館活動について引き続き調べる。

● 次回の予定 松くい虫の消毒について、上田市の対応等の話を伺います。活動日程について話し合います。

誰もが安心して健康に暮らせるまち ～きれいな水の循環を考える～

● 浄水場、下水処理場などの施設見学会に参加し、命の水について考えていきます。

うえだの景観

■ 3月17日、UCV制作番組「うえだの近代化産業遺産」の第4回目収録(会場：清水卓爾家・明治29年)

○ 蚕室造りの民家の解説を竹内秀夫が務め、建物の経緯や内部などを清水卓爾氏に語って頂いた。清水卓爾家は母屋・蚕室・土蔵、それに門がとてもよい状態で残されており、明治時代の蚕種製造により経済的にもとても豊かであったことを伺い知ることができる。門自体は、養蚕との直接的なつながりはないが、養蚕による繁栄の結果として捉えると、門もまた塩尻地区における蚕室造りの民家の特徴のひとつといえることができる。塩尻地区で多く見られる門には、長屋門・木戸門・薬医門がある。長屋門というのは、長屋と門が結合したもので、板扉脇の部屋は養蚕の道具などを仕舞っておく物置として利用されていたようだ。木戸門は板扉の両側にある親柱2本だけで門の屋根を支えている。薬医門は、表からの見た目は木戸門と同じだが、裏側へ回ると板扉の両側の2本の親柱の手前に控え柱が2本あり、この4本の柱で門の屋根を支えている。ちなみに、清水卓爾家の門は薬医門である。ところで、母屋について、蚕室造りの民家に住まわれている方や住んだ経験のある方は、「こんな住みづらい家はない」と皆同様に口にする。その理由は、田の字型プランで各部屋のプライバシーを保ちにくいことや、換気のために設けられた越屋根の気抜け窓や欄間からの隙間風で冬の室内はとても寒いことなどが挙げられる。それらを清水卓爾氏も体験し、蚕室造りの民家は住みづらいという思いはある。しかし、昔玄関だったところをリビングに、使用人部屋だったところをリビングにつながる書斎として古い構造材を見せる形で改築され、趣のある落ち着いた空間を創出し、快適に生活されている。つまり、住みづらい蚕室造りの民家でも、ちょっとした工夫で趣のある落ち着いた空間に変えることはできるし、快適に暮らせるということを清水卓爾家は示している。こういうアイデアや工夫が、これからの持続可能な活用方法へつながっていくのである。

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのワーキングチームにも参加できます。参加ご希望の方は、上田市生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

事務局 上田市生活環境課内：電話 0268-23-5120

清水卓爾邸

地球 SOS

■ 3月13日 シラカシ自生地観察会開催

○参加者25名、5社のマスコミ関係者が参加し、小泉大日堂裏、朝日山一帯に自生しているシラカシの本数を数えました。4箇所調査区の平均数は57本で、朝日山全体に換算すると、約6万本にも及ぶ可能性があることがわかり、地域での温暖化の進行状況を認識する事ができました。当日は、川上リーダーから地球温暖化の仕組みについてのレクチャーを受け、また「染屋の森の会」の霜田さんから、冬芽の観察方法についてのお話がありました。



シラカシ観察会

菜の花畑から発信！

ゼロエミッションを考える見学会

エネルギー作物のひとつ、菜の花から油を搾って食用油にする取組は、使用後の廃食油を軽油代替燃料（自動車の燃料など）へと替えて再び使用します。このように、廃棄物を少なくする循環システムの一環を、菜の花の花見を兼ねて見学します。

記

- 日時 4月22日(木) 午前8時30分
- 場所 上田城跡公園やぐら下観光駐車場 集合
- 日程 菜の花畑見学⇒染屋の森気温測定器見学⇒BDF装置見学⇒解散(11時30分古里地区)

雨天決行します。

※ゼロエミッション…産業の製造工程から出る廃棄物を、別の産業の再生原料として利用する事で、究極的には廃棄物をゼロにしようとする構想。

げん ゴミゼロ ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

■ 3月19日 ミーティング開催

○食品トレイ使用削減活動における、事業者との懇談会について検討しました。

●4月9日 食品トレイ使用削減活動協力団体打ち合わせ
場所 市役所本庁舎2階第2会議室 午後1時30分
協力団体：「上田市ごみ減量アドバイザー会議」「上田市消費者の会」「上田市婦人会」「上田商工会議所女性会」「上田友の会」「エコ・サポート21」「学生地域暮らし創り考房こみっと」「生活クラブ生協上田支部」(五十音順)

● 4月15日 食品トレイ使用削減活動事業者懇談会

場所 市役所南庁舎5階第3、4会議室 午後1時30分
依頼事業所：(株)アップルランド塩田店、イオン(株)ジャスコ上田店、(株)イトーヨーカ堂上田店、(株)エス・エス・ブイ秋和店、サニーライフ、信州うえだ農業協同組合生活部、(株)西友リヴィン上田店、全日食チェーン長野協同組合(スーパー OZAKI)、(株)ツルヤ営業本部、マックスバリュしおだ野店、(株)マツヤ本社総務課、やおふく(株) (五十音順)

環境学習 いのち ～命の連環を学ぶ～

■ 3月6日 環境講演会開催 「おいしい水と安全な水道水」

講師：中本信忠信州大学教授

○おいしい水は、自分自身の感覚で判断しているが、安全な水は基準で判断されている。ガソリンより高い水がよく売れているが、これは塩素臭い水道水が人々に信用されていないからではないのか。浄水場の緩速ろ過処理の仕組みが、なぜおいしい水になるのか。生物の力、自然の仕組みを活用したシステムがおいしい水を作り出していることを、各地の施設及びご自身の長年にわたる実験結果などを示しながらお話いただきました。安くて美味しくても安全な水を得るためには、市民がよき監視人になること。水道法や塩素基準についても、住民が声をあげることで変えることができること。そして、自己責任で飲むことの意味など、大変示唆に富んだ内容の講演でした。

太陽と賢くつきあおう ～紫外線講演会～

- | | |
|-----|------------------------|
| 日時 | 4月24日(土) 午後2時30分～4時30分 |
| 場所 | 中央公民館第一会議室 |
| 講師 | 柴田英俊氏(紫外線教育研究所所長) |
| 参加費 | 600円 |
| 主催 | 縁舎ママーズ 後援 上田市教育委員会 |
| 協賛 | 生活クラブ生協協同組合、環境学習チーム |

環境講演会「千曲川と魚たち」

- | | |
|----|------------------|
| 日時 | 5月15日(土) 午後2時～4時 |
| 場所 | 上田駅前ビル パレオ5階会議室 |
| 講師 | 井出義人氏(上小漁業協同組合長) |

環境 ISO ネットワーク

○環境 ISO ヘルプデスクを開設します。

上田地域内の事業者からの、環境 ISO の取得や手法、また、環境省や長野県版の「環境評価プログラム」についての相談を随時受け付け、その相談内容に対し、ネットワーク内で検討し、回答及び必要に応じて事業所に出向き、現地指導を行います。